

## 8. 都市防災

### 8-1. 都市防災に関する現状と課題

近年、全国各地で発生している災害の状況をみると、大規模地震の発生が予想されている地域以外でも大規模な地震が発生し、台風や前線に伴う集中豪雨や予測できないゲリラ豪雨の発生頻度が著しく増加するなど、自然災害への危険性が高まっています。また、本市は、石狩川・空知川の2大河川を中心として、江部乙川やラウネ川に囲まれており、浸水の危険性のある地域や地すべり、がけ崩れの危険性があります。

そのため、避難路、電気・ガス・水道、情報通信等の**ライフラインの強化**とともに、**避難所の整備や公共施設、民間住宅等の耐震改修**などを進めていくことが重要であり、自然災害から市民の生命と財産を守り、市民が安心・安全に暮らせる**災害に強い都市の形成**を図る必要があります。

また、市民主体の**自主防災組織の育成・支援**、市民への**防災情報の提供**や**防災意識の啓蒙普及**とともに、周辺市町との**広域防災の取り組み**を図る必要があります。



図 4.24 水害（昭和後期）



図 4.25 風台風による被害（H16年）

### 8-2. 都市防災の基本方針

**災害に強い都市づくりを進めるとともに、  
市民自らの地域防災力の強化により市民の安全・安心を確保**

#### （１）災害などへの対応強化

災害に強い都市づくりを進めるため、地域防災計画、耐震改修促進計画などに基づき、電気、水道、ガスなどのライフラインや防災拠点となる施設の安全性を確保します。

#### （２）治水対策の促進

自然環境に配慮しながら河川の維持管理や水害対策を適切に行うため、河川整備計画などに基づき、護岸整備及び堤防の築造や低地帯などの排水施設の整備とともに、河川環境に関する情報の共有化を図ります。

#### （３）積雪に強い都市づくり

冬期間における交通の円滑化と安全性確保、居住環境の改善を図るため、積雪に配慮した体系的な市街地内の道路整備や防雪施設・融雪施設の整備、除雪体制の強化を図ります。

#### （４）市民の防災対応力の向上

市民が自らの安全を守り、災害時の被害軽減及び災害後の円滑な復興活動に向けて行政と協働で地域の災害対応力を向上するため、コミュニティ街区を中心とした地域の防災対策を行うとともに、市民による自主防災組織の育成支援、防災訓練などの活動を支援します。

## 8-3. 都市防災の方針

### (1) 基本的考え方

地域防災計画、耐震改修促進計画などに基づき、災害に強い都市基盤の整備や防災を考慮した土地利用計画などとともに、コミュニティ街区を中心とした地域の防災対策による市民の防災力向上など、ハード・ソフト両面からの取り組みを行い、市民の安全、安心を確保する災害に強い都市の形成を図ります。

### (2) 整備方針

#### 1) 災害への対応の強化

災害発生時に迅速な対応ができるよう電気、水道、ガスなどのライフラインを確保するとともに避難所や避難路を確保し、災害応急活動の拠点となる市役所、消防署、病院、避難場所となる学校等の公共施設の安全性を確保します。

- ・長寿命化計画などに伴う道路、橋梁、下水等の耐震化
- ・滝川市耐震改修促進計画に基づく多数の人が利用する市有建築物、避難施設の耐震化  
対象：文化センター、総合福祉センター、農村環境改善センター、滝川市知的障害者サービスセンター、老人ホーム緑寿園、青年体育センター、滝川市立滝川第一小学校、滝川市立滝川第二小学校、滝川市立滝川第三小学校、滝川市立東栄小学校、滝川市立西小学校、滝川市立東小学校、滝川市立江部乙小学校、滝川市立江陵中学校、滝川市立明苑中学校、滝川市立開西中学校、滝川市立江部乙中学校、滝川市立西高等学校、二の坂保育所、中央保育所、勤労青少年ホーム、滝川スポーツセンター、空知教育センター、消防本部庁舎、滝川こどもセンター

#### 2) 治水対策の促進

河川整備計画などに基づき、石狩川・空知川・江部乙川・ラウネ川などの護岸整備及び堤防の築造など維持管理を適切に行うとともに、低地帯の排水施設の整備による内水対策、流域対策を行います。また、河川環境に関する情報収集・提供、水防訓練、河川に関する研修を行い、市民と協力した治水対策を行います。

- ・河川改修工事
- ・河川の河岸保護工
- ・内水排除（樋門・排水施設）の整備、更新
- ・水防訓練の実施
- ・河川環境に関する情報収集・提供

#### 3) 積雪に強い都市環境の整備

冬期間における積雪に対応し、道路の安全性確保や防雪施設、融雪施設の整備を行うとともに、堆雪スペースが確保された住宅の整備を促進します。また、コミュニティ街区を中心とした地域協働の除雪体制づくりを推進します。

- ・路面凍結防止策
- ・融雪槽の普及（融雪槽設置費補助制度）
- ・地域協働の徐排雪の体制づくり（市道排雪補助事業、私道の徐排雪に対する補助）

#### 4) 防災意識の啓蒙普及・情報提供

災害時の被害軽減及び災害後の円滑な復興活動に向け、災害発生時に効率的な避難誘導、応急対策を進めるため、防災に関する情報システムの整備を行います。また、滝川地区地域防災施設を地域の防災拠点として活用し、市民による自主防災組織の育成支援、防災訓練などの活動を支援し、市民の防災意識の向上と防災に関する地域コミュニティの強化を図ります。

- 地域防災計画に基づく災害対策、被害軽減対策等
- 自主防災組織育成（滝川市地域防災計画）
- 災害時の被害や安全対策について市民の意識啓蒙普及
- 市民参加の防災活動による市民の防災意識の向上
- FM G'Sky や国の防災情報共有システムによる防災情報提供（滝川市総合計画）
- 石狩川中流河川防災ステーションの検討（国、石狩川（下流）河川整備計画）
- 洪水ハザードマップ啓発・普及

◆都市防災方針図

